



新羽小だより

令和5年(2023年)5月26日

第590号

横浜市立新羽小学校

Tel 543-8871 Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa/>

新しい羽

～自分からの羽 協力の羽～

校長 佐藤 恵子

毎年新羽小学校では、児童会の中心となる運営委員会で「新羽小スローガン」を決め、全校児童がそのスローガン達成に向けてがんばります。日々の学習活動や行事を組み立てる際にもそのスローガンを生かし、一つの目標としての意識をもちます。自分たちが主体となって学校をつくっていく取組です。今年度も時間をかけて真剣に話し合いました。自分たちはどんな学校をつくっていきたいのか、自分たちはどうありたいのか、子どもたちは一生懸命話し合いました。ようやく決定し、5月16日の朝会で決定したスローガンを発表しました。「新しい羽 ～自分からの羽 協力の羽～」自分からの羽と協力の羽の二つの羽をもって思い思いに羽ばたこう、そんな願いが込められています。私たち教職員は、子どもたちの思いが実現できるように、傍らで支え励ましていこうと思います。

昨今「自らすすんで学習に取り組む」、「主体的な学び」、と前向きで能動的な学習の大切さに触れるフレーズを目にする機会がたくさんあります。自分で決定権をもって行動し、それが周囲の人に認められると、自己肯定感が高まり、自分はかけがえのない存在だと感じるすることができます。また、自らの興味関心を膨らませて学び取ったことは、生涯その人を支え生きる力となります。受け身では決して勝ち取ることのできない力です。「自分からの羽」は、自己実現に欠かせない羽なのです。実りある学習の土台です。そして、人を思いやり支え合う温かな空気の中で人は安心して「自分からの羽」を広げることができます。「協力の羽」はそんな温かさの象徴です。令和5年度、「わたしがかがやき みんながかがやく 新羽の子ども」は二つの羽を広げて自分らしく羽ばたきます。保護者の皆様、地域の皆様、今後も変わらぬ愛情とご支援をよろしくお願いいたします。

<お便りのデジタル配付に向けて>

社会全体でデジタル化が進む中、「入学する前はスマホにお便りが届いていました。」「通勤途中にお手紙が読めたらうれしいです。」「紙の保管が難しいです。」など、学校からの文書配付についてさまざまなご意見をいただいています。そこで、紙資源(経費)節約、紙ゴミ削減、確実な情報伝達、保護者様の利便性の向上を図る取組として、文書配付のデジタル化を進めます。すでに横浜市のいくつかの学校が活用している、無料で操作が簡単な専用アプリを導入して、アプリ内で文書を閲覧できる仕組みを考えています。お知らせの内容と目的によって、ミマモルメ、紙面、専用アプリの3パターンを使い分けます。PTA 運営委員会ではすでにご紹介しましたが、後日、ご案内を配付します。ご理解のうえ、アプリのインストールなど、ご協力をお願いいたします。